

2015年2月(vol.667)

■ ニュースピックアップ

● 正副会長会議

## 正副会長会議

2月9日、正副会長会議を開催。

- ①全国建設業協会会長表彰(案)について
- ②平成27年度1月末の予算執行状況について
- ③平成27年度の新規事業(案)(来年度において、県や労働局から委託等が予想される事業案)について一の議題で協議した。

## ◆ 会員変更事項

### ・2015年2月

---

■今月はありません

---

---



## ◆ 協会日誌

## ・ 2月

3日 建産連加盟団体長会議

4日 広報委員会

フォトコン実行委員会

---

9日 正副会長会議

---

16日 滋賀国道事務所と技士会との意見交換会

18日 近畿地方整備局と近畿ブロック建設業協会との建築関係意見  
交換会

20日 全建理事会・施設見学会  
高校生の現場見学会

---

23日 社会保険等未加入対策推進地方協議会  
全建経営委員会

25日 アセットマネジメント検討委員会

27日 近畿地方整備局と近畿地区ブロック土木施工管理技士会連絡  
協議会との意見交換会技士会

---



## ◆ 会議・部会・委員会等

### 広報委員会

2月4日、夢けんプラザにて第4回広報委員会が開催され、第21回「夢けんせつフォトコンテスト」について、第3回「夢けんプラザ絵画コンクール」について、夢けんせつ2015春号の取材について協議しました。

[▲TOP▲](#)

### 夢けんせつフォトコンテスト実行委員会

2月4日、「夢けんせつフォトコンテスト」第2回実行委員会が、夢けんプラザにて開催されました。第20回フォトコンテストの事業報告に続き、第21回フォトコンテストの開催実施要領が協議され、第21回の開催の決定とU22特別賞が第2部にも新設されることが決まりました。

[▲TOP▲](#)

### 近畿地方整備局と近畿ブロック建設業協会との 建築関係意見交換会

2月18日、近畿地方整備局主催により、近畿地方整備局における管轄関係の取組みについて、また各建設業協会の要望等について意見交換会が開催されました。

建築工事における現状と課題について、活発な意見が交わされました。

近畿地方整備局による建築工事に関する意見交換会は初の開催であり、今後、継続開催していくことで一致しました。

[▲TOP▲](#)

## 全国建設業協会 理事会

2月20日、東京都の鉄鋼会館において全国建設業協会理事会が開催された。

最初に近藤会長が「平成27年度公共事業の当初予算は5.9兆円で、前年度同水準となった。1月30日、発注関係事務に関する運用指針が公表され、概ね、全建の意見が反映されている。国主催の説明会が現在行われている。各協会にその周知活動を積極的に行ってほしい。2月に設計労務単価が改訂され、4.2%上昇した。自民党へお礼の訪問をした」と挨拶された。

議事では、審議事項において協議員の委嘱について本会から就任していた前任者山川副会長の後任に湯本副会長が就任することが諮られ承認された。また、「将来の地域建設産業の担い手確保・育成のための行動指針」(案)、平成27年度事業計画(案)、平成27年度全建会費(案)、平成27年度収支予算書(案)について審議され、すべて原案とおり承認された。さらに、報告事項として、建設企業(団体)行動憲章の改定、地元建設業者受注確保法の動き、改正品確法の運用指針、公共建築工事の円滑な施工確保対策に関する意見交換会、第4回社会保険未加入対策推進協議会、第9回建設産業活性化会議、日経コンストラクション記事への対応、会員企業の倒産状況調査結果(10~12月)、各種委員会報告について、担当者から資料に基づき説明があった。

[▲TOP▲](#)

## 施設見学会

2月20日、全建近藤会長の西松建設と玉川大学の産学連携による「Sci Tech Farm」(LED農園)の見学会が実施され、約30人が参加した。

施設である工場は大学のキャンパス内にあり、LEDを使用し3種類のレタスを栽培している。工場のため無農薬で栽培されており、洗わずに食べられる野菜であった。

[▲TOP▲](#)



## 高校生の現場見学会

2月20日、滋賀県立八幡工業高校の建築課2年生の生徒33名が参加した。

見学現場先は、奈良県の平城宮跡歴史公園復原事業情報館新築工事(近畿地方整備局発注)で工事監理をしている近畿地方整備局京都管轄事務所と施工業者の畠田原建設から工事概要についての説明をいただいたあと、作業現場を見学。見学後、学生から担当者に施工等についての質疑応答があり有意義な時間を送った。

[▲TOP▲](#)

## 全建経営委員会

2月23日、全建経営委員会を開催。

①平成27年度事業計画(案)について ②平成27年度全建会費(案)について ③平成27年度収支予算書(案)について ④会員企業の倒産状況調査報告(平成26年1月～12月)について ⑤表彰部会の開催について一の議題で審議され原案どおり可決された。

[▲TOP▲](#)

## 第3回社会保険未加入対策推進近畿地方協議会

2月23日、大阪マーチャンダイズ・マート(大阪市中央区大手前)において、近畿地方整備局主催による「第3回社会保険未加入対策推進近畿地方協議会」が開催された。

最初に近畿地方整備局・植田建政部長が『社会保険の加入状況は、平成26年10月が67.3%で平成23年10月に比べ10ポイントも上昇し成果は上がっている。平成29年に向け90%以上の加入率達成のためには皆の協力が必要である。下請指導ガイドラインの改訂で踏み込んだ対応をした。目標達成に努力したい』と挨拶があった。

議事では、社会保険未加入対策に関連する各種調査の結果、建設業許可行政庁による

社会保険等未加入業者への加入指導状況、社会保険の加入に関する下請指導ガイドラインの改訂(案)、行政における今後の取組等、社会保険未加入対策に関する各団体の取組み、法定福利費を内訳明示した見積書の活用による法定福利費の確保に向けた関係者の更なる取組の強化について建設産業課茂原課長から資料により説明があった。

なお、各団体からの取組みとして日本建設業連合会関西支部の安藤事務局長から、また、全国建設業協会の取組みについては茂原課長からそれぞれ状況説明があった。

[▲TOP^](#)

## アセットマネジメント検討委員会

2月25日、本会の「道路パトロール」受注に向けての課題、具体的な推進策について検討した。今後、県に対して、道路パトロールの本会受注に対する発注者側としての問題点や障害について掘り下げた意見交換を行っていくことに決定した。

[▲TOP^](#)

## ◆ 関係団体

### ■ 公益社団法人 滋賀県建設産業団体連合会

#### 建産連加盟団体長会議

2月3日、滋賀県建設会館(夢けんプラザ)において建産連加盟団体長会議を開催した。議題は「滋賀県との共同事業について」の説明で、本年度滋賀県と共同で行う事業、建設産業魅力アップイベント・広報誌作成・担い手育成確保支援等、説明を行った。

事業は本年度秋に予定する、建設フェスタで加盟団体の参加を募った。

[▲TOP▲](#)

### ■ 一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

#### 滋賀国道事務所と技士会との意見交換会

2月16日、滋賀国道事務所との意見交換会を開催した。

当日は、工事施工段階における具体的な事例に基づき、問題点解決のために、平成26年度(滋賀国道事務所)の事業を振り返っての課題について、また、平成27年度事業目的について、平成28年度以降の事業展開、要望について当会正副会長と滋賀国道事務所の担当者が意見を交えた。



## 近畿地方整備局と土木施工管理技士会近畿地区ブロック 連絡協議会との意見交換会

2月27日、大阪市のKKRホテル大阪(大阪府中央区馬場町)において土木施工管理技士会近畿地区ブロック連絡協議会と近畿地方整備局との意見交換会が開かれた。

入札契約手続きや総合評価方式に関わる各種問題、また、設計積算、設計変更、事前調整、工期設定、積算共有システム等について要望について、近畿地区ブロックの技士会から7項目にわたる提案事項について意見が交わされた。

意見交換会には、近畿地方整備局から、森局長、小俣企画部長、安藤企画部技術調整管理官を始め多数局より参加、技士会からは滋賀県土木施工管理技士会森本会長、副会長、全国土木施工管理技士会連合会谷口会長、猪熊専務理事のほか各府県の会長、副会長らが参加し今回の協議会の幹事県である(一社)滋賀県土木技士会森本会長が「重要な課題が多くスピード感を持って施策展開して頂きたい。今日の意見交換会を限り多い有意義なものにしたい」と挨拶、これに対して同局の森局長は「建設産業の担い手をしっかり確保していくことが重要」と忌憚のない意見を求め、谷口全国土木技士会会長は「一つひとつ成果を上げていただきたい」として建設的な意見交換を求めた。

下記4つの項目17の提案について意見を交換した。

1. 入札制度
2. 設計・積算・設計変更
3. 事前調査・工期設定
4. 施工段階における事項
5. 情報共有システム
6. 専門工事業者
7. 担い手の育成、技術者の社会的地位向上について



雇用  
改善

- [建設労働者確保育成助成金](#)

建設雇用改善助成金は、平成25年5月16日をもって廃止され、新たに建設労働者確保育成助成金が創設されました。

- [在職者訓練コースのご案内](#)

★能力開発・教育コース情報検索

- [雇用保険制度が変わりました！](#) [\(PDFファイル\)](#)

## ◆ その他

## ◆ 過去の月刊レポート

クリックすると、月ごとの月刊レポートを見ることができます。

## ■2014年

<a href="#">4月</a>	<a href="#">5月</a>	<a href="#">6月</a>	<a href="#">7月</a>	<a href="#">8月</a>	<a href="#">9月</a>
<a href="#">10月</a>	<a href="#">11月</a>	<a href="#">12月</a>	<a href="#">1月</a> <small>NEW!</small>	<a href="#">2月</a>	<a href="#">3月</a>



## ■2013年

<a href="#">4月</a>	<a href="#">5月</a>	<a href="#">6月</a>	<a href="#">7月</a>	<a href="#">8月</a>	<a href="#">9月</a>
<a href="#">10月</a>	<a href="#">11月</a>	<a href="#">12月</a>	<a href="#">1月</a>	<a href="#">2月</a>	<a href="#">3月</a>



## ■2012年

<a href="#">4月</a>	<a href="#">5月</a>	<a href="#">6月</a>	<a href="#">7月</a>	<a href="#">8月</a>	<a href="#">9月</a>
<a href="#">10月</a>	<a href="#">11月</a>	<a href="#">12月</a>	<a href="#">1月</a>	<a href="#">2月</a>	<a href="#">3月</a>



## ■2011年

<a href="#">4月</a>	<a href="#">5月</a>	<a href="#">6月</a>	<a href="#">7月</a>	<a href="#">8月</a>	<a href="#">9月</a>
<a href="#">10月</a>	<a href="#">11月</a>	<a href="#">12月</a>	<a href="#">1月</a>	<a href="#">2月</a>	<a href="#">3月</a>



## ■2010年

<a href="#">4月</a>	<a href="#">5月</a>	<a href="#">6月</a>	<a href="#">7月</a>	<a href="#">8月</a>	<a href="#">9月</a>
<a href="#">10月</a>	<a href="#">11月</a>	<a href="#">12月</a>	<a href="#">1月</a>	<a href="#">2月</a>	<a href="#">3月</a>

